

2018年5月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) メーデー
- (2) キューバ航空飛行機墜落事故
- (3) 人民権力全国議会特別会期の召集
- (4) 閣僚評議会の開催

2 外交

- (1) ハーシミー・アラブ首長国連邦国際協力担当国務大臣の来訪
- (2) ムライヒー・カタール外務担当国務大臣の来訪
- (3) タバレス・カーボヴェルデ外務・共同体大臣ほかの来訪
- (4) ムブンバ・ナミビア副大統領の来訪
- (5) チャップマン国家評議会副議長のコスタリカ訪問
- (6) グテーレス国連事務総長の来訪
- (7) 国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）第37回総会
- (8) バルセナECLAC事務局長の来訪
- (9) スーマー・カリブ諸国連合（ACS）事務局長の来訪
- (10) 康京和・韓国外交部長官の来訪
- (11) アッパース・パレスチナ自治政府大統領の来訪
- (12) ガルシア・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官の来訪
- (13) ロドリゲス外務大臣のベルギー、スイス及びフランス訪問
- (14) ペレス科学技術環境大臣のイタリア訪問
- (15) カブリサス閣僚評議会副議長のロシア訪問
- (16) サボリド高等教育大臣のフランス訪問
- (17) モラレス国家評議会副議長兼保健大臣のスイス及びアルジェリア訪問
- (18) ベヘラノ国家評議会副議長兼会計検査院長のロシア訪問
- (19) ペニャ・アルゼンチン内閣府官房長官の来訪
- (20) ロドリゲス農業大臣のベラルーシ訪問
- (21) ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長のベネズエラ訪問

【本文】

1 内政

- (1) メーデー

1日、キューバ各地で、メーデー行進等が行われ、全国で660万人が参加した。ハバナでは、革命広場において約2時間にわたって行進が行われ、約90万人が参加した。ラウル・カストロ共産党第一書記及びディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長等が出席する中、ウリセス・ギラルテ・キューバ労働者連合事務局長が演説を行い、「メーデーは、革命、ラウル第一書記、ディアスカネル議長、フィデル、及び経済社会モデルの現代化等に対する労働者の支持を改めて表明する機会である。団結、約束、及び勝利（という言葉）が、主権的で独立し、社会主義であり民主主義的で、繁栄し且つ永続的な国家を、現在及び将来に亘って建国し続けるという、我々の意志を表現している」旨述べた。また、「米国に対し、近時更に酷くなっている経済制裁の解除、及びグアタナモ基地の返還等を求める。ベネズエラ、ニカラグア、ルーラ元ブラジル大統領に対する連帯を再確認する」旨述べた。

（2）キューバ航空飛行機墜落事故

18日、ハバナにあるホセ・マルティ国際空港を出発したキューバ航空の飛行機が墜落した。墜落した機体はメキシコ企業からのリースされたものであり、乗員6名は全てメキシコ人であった。また、乗客107名を加えた全113名のうち、110名が亡くなる大惨事となった。同事故を受け、キューバ国家評議会は5月19日6：00から20日24：00までを服喪期間とした。

同事故に対しては、世界各国からお見舞いのメッセージが寄せられた。

（3）人民権力全国議会特別会期の召集

27日、国家評議会は人民権力全国議会特別会期を6月2日に招集することを決定した。これは、同議会常設委員会及び友好議員連盟のメンバーを決定すること、アルテミサ県及びマジャベケ県で実験的に行われている県政府についての議論を行うこと及び憲法改正プロセスについて議論を行うことを目的とするもの。

（4）閣僚評議会の開催

29日、ディアスカネル議長出席の下、閣僚評議会が開催され、経済情勢、2019年予算案、汚職対策などについて議論が行われた。ディアスカネル議長は、ラウル・カストロ共産党第一書記が繰り返し言及していることに触れつつ、汚職は革命の第一の敵である旨強調した。

2 外交

（1）ハーシミー・アラブ首長国連邦国際協力担当国務大臣の来訪

1日、リーム・ハーシミー・アラブ首長国連邦国際協力担当国務大臣がキューバを訪問した。

リカルド・カブリス閣僚評議会副議長兼経済企画大臣との会談では、二国間経済・貿易関係、アブダビ基金（注：2015年に署名されたアラブ首長国連邦がキューバにおける太陽光発電所建設のために55百万ドルの有償資金協力）関連案件、両国協力関係拡大の可能性、2020年のドバイ万博へのキューバの参加について話し合われた。

ロドリゴ・マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣との会談では、投資の進捗状況や新規投資の可能性、学生育成に向けた三角協力への取り組みについて話し合われた。

（2）ムライヒー・カタール外務担当国務大臣の来訪

1日、スルタン・サアド・アル・ムライヒー・カタール外務担当国務大臣がキューバを訪問した。

ムライヒー国務大臣はブルーノ・ロドリゲス外務大臣と会談したほか、第2回二国間外務省政策対話のカタール側代表を務めた（同政策対話のキューバ側代表はマルセリーノ・メディーナ外務第一次官）。

（3）タバレス・カーボヴェルデ外務・共同体大臣ほかの来訪

2日、2018年キューバ国際保健会議出席のためキューバを訪問したアルインド・ドロサリオ・カーボヴェルデ保健・社会保障大臣は、ロベルト・モラレス国家評議会副議長兼保健大臣と会談したほか、アメイヘイラス兄弟病院を始めとする医療関連施設を訪問した。

2日から3日、ルイス・フェリペ・ロペス・タバレス・カーボヴェルデ外務・共同体大臣がキューバを訪問し、ロドリゲス外務大臣と会談し二国間協議制度設立合意に署名したほか、ウリセス・ロサレス・デル・トロ閣僚評議会副議長と会談した。

（4）ムブンバ・ナミビア副大統領の来訪

2日から5日、ナンゴロ・ムブンバ・ナミビア副大統領がキューバを訪問した。

ラウル・カストロ党第一書記との会談では、両国の優先事項について意見交換を行い、ナミビアの解放の為に闘争の道筋について回想した上で、両国民を結びつける歴史的絆をさらに強化することについて一致した。キューバ側はロドリゲス外務大臣、ガンダリージャ内務大臣らが、ナミビア側はカポフィ内務移民大臣らが同席した。

また、ムブンバ副大統領は、ハバナ市のコロ墓地でカシングの虐殺40周年事業としてアフリカで倒れたキューバ人兵士に対して献花を行ったほか、革命軍事省で行われたカシングの虐殺40周年に係る政治・文化的行事に出席した。

（5）チャップマン国家評議会副議長のコスタリカ訪問

7日、イネス・チャップマン国家評議会副議長は大統領就任式出席のため、コスタリカを訪問し、ルイス・ソリス前大統領及びカルロス・アルバラード新大統領とそれぞれ会談

した。

(6) グテレス国連事務総長の来訪

7日から8日、アントニオ・グテレス国連事務総長がキューバを公式訪問した。

ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長との会談では、世界の平和及び安全保障に関するテーマ、持続可能な開発目標（SDGs）及び気候変動について議論した。キューバ側はロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣らが、国連側はアリシア・バルセナECLAC事務局長らが同席した。

ラウル・カストロ共産党第一書記との会談では、平和の保全、国際安全保障、国際法秩序等について意見交換した。キューバ側はロドリゲス外務大臣らが、国連側はバルセナECLAC事務局長らが同席した。

また、グテレス事務総長は、革命広場においてホセ・マルティ像への献花を行ったほか、世界遺産に登録されているハバナ旧市街を訪れ、同地域の修復作業等を視察した。8日、ラウル・カストロ共産党第一書記は、当地訪問中のグテレス国連事務総長と会談した。

(7) 第37回ECLAC総会

ア 全体概要

7日から11日、第37回ECLAC総会がハバナにおいて開催された。

7日には外国投資セミナーが行われ、マルミエルカ外国貿易外国投資大臣がキューバの外国投資に対する方針について発言があった。

8日には開会式が行われ、バルセナECLAC事務局長、ディアスカネル議長、グテレス国連事務総長が概要以下の演説を行った。

9日には、ECLACの活動に関する報告書の提出及び南南協力に関する第二回国連ハイレベル会合に向けた中規模所得国の挑戦に関するパネルが行われた。

10日には、「不平等の非効率性」についてのハイレベルセミナーが開催された。

11日には、外相及びハイレベル対話、決議採択及び閉会式が行われた。

イ ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長の演説

ECLACは、ラテンアメリカ・カリブ地域の発展に公平性をもたらすのに貢献してきており、世界で最も不平等な地域である同地域の公平な発展を達成するためには、地域統合を推し進めなければならない。キューバは、米国による経済制裁が課されているにもかかわらず、得られた成果を保護、拡大、深化させるための定められた開発目標に注力している。キューバは、2018年から2020年のECLAC及び南南協力委員会と持続可能な発展についてのラテンアメリカ・カリブ諸国フォーラムの議長を引き受け、直面する課題に取り組む。

ウ グテーレス国連事務総長の演説

ECLACは経済成長のための原動力として収入以上に平等を考慮するという見方を促進するとともに、経済的、社会的及び政治的平等というその最も広い意味での権利の平等に対して、常に関心を払ってきた。創設から70年が経過した今も、経済的、構造的、進歩主義的な変革をもたらすため、平等なグローバリゼーションを促進している。

エ バルセナECLAC事務局長の演説

キューバとECLACとの協力は特筆すべきものであり、経済社会モデルの更新に寄与するため、キューバがECLACに対し信頼を寄せていることに感謝する。キューバは50年以上に亘り米国による不当な経済制裁を受けており、ECLACは毎年その被害額を評価しているが、被害額は1,300億米ドルにも上る。2010年から、ECLACは発展における基本的価値として平等を位置づけてきているが、この地域は世界で最も不平等な地域であり、通商面での統合のみならず、産業についても統合された、生産性に関しての地域統合がペンディング事項である。

(8) バルセナECLAC事務局長の来訪

8日、ECLAC第37回総会出席のためキューバを訪問したバルセナECLAC事務局長は、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長と会談した。会談では、キューバ政府とECLACの間の素晴らしい関係について強調しつつ、同関係をさらに深化させる意志を確認するとともに、国際的な議題について意見交換した。ディアスカネル議長はキューバの経済モデル更新に対するECLAC事務局の支援に対し、バルセナ事務局長はECLACキューバ開催に対する支援に対し、それぞれ感謝の意を表明した。

(9) スーマーACS事務局長の来訪

8日、ECLAC第37回総会出席のためキューバを訪問したジューン・スーマーACS事務局長は、ロヘリオ・シエラ外務次官と会談した。

(10) 康京和・韓国外交部長官の来訪

10日、ECLAC第37回総会出席のためキューバを訪問した康京和・韓国外交部長官は、ロドリゲス外務大臣と会談し、国連総会の場で二国間協議を継続することで一致した(注:キューバと韓国は外交関係を有していない)。

また、康長官はマルミエルカ外国貿易・外国投資大臣とも会談し、両国間の経済協力・貿易関係の推進方法について意見交換した。

(11) アッパース・パレスチナ自治政府大統領の来訪

10日から12日、マフムード・アッバース・パレスチナ自治政府大統領はキューバを訪問した。

ディアスカネル議長との会談で、同議長はパレスチナ人による国家樹立へのキューバの支持及び米国政府によるエルサレムをイスラエルの首都として認めるという一方的な決定への拒否を伝えた。

また、アッバース大統領は、エステバン・ラソ人民権力全国議会議長、サルバドール・バルデス国家評議会兼閣僚評議会第一副議長、メディーナ外務第一次官とも会談した。

(12) ガルシア・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官の来訪

9日から12日、フェルナンド・ガルシア・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官はECLAC第37回総会出席のためキューバを訪問した。

カブリサス閣僚評議会副議長との会談では、2018年末または2019年初めに発効予定の新たなスペイン・キューバ連携枠組みを踏まえて協力深化に取り組む共通の意志を再確認した。

また、ガルシア長官は、ロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣ともそれぞれ会談した。

(13) ロドリゲス外務大臣のベルギー、スイス及びフランス訪問

15日、第1回EUキューバ共同審議会においてキューバ側代表を務めるため、ロドリゲス外務大臣はベルギー（ブリュッセル）を訪問した（EU側代表はフェデリカ・モゲリーニEU外務安全保障政策上級代表）。これは、2017年11月1日に発効した政治対話及び協力に関するEUキューバ合意に基づくもの。

16日、国連人権理事会における第30回普遍的・定期的レビュー（UPR）に出席するため、ロドリゲス外務大臣はスイス（ジュネーブ）を訪問した。同大臣は、会合において、米国による経済制裁を強く批判するとともに、キューバが国連人権システム、特に人権理事会とその普遍的で非差別的なメカニズムに協力するとの約束を強調した。

18日、ロドリゲス外務大臣はジャン＝イヴ・ル・ドリアン仏欧州・外務大臣と会談した。両者は政治・外交対話を拡大させるという共通の意志を表明し、経済・貿易、投資、大学間、科学技術、文化、スポーツ等の分野での交流を深化させる潜在力を確認した。また、ロドリゲス外務大臣はオドレー・アズレー・ユネスコ事務局長と会談し、良好なキューバとユネスコの関係や、ユネスコの将来について意見交換した。

(14) ペレス科学技術環境大臣のイタリア訪問

21日から23日、エルバ・ペレス科学技術環境大臣は、第3回環境合同会議に出席するため、イタリアを訪問した。同会議では、2017年に科学技術環境省（CITMA）

とイタリア環境・国土保全省との間で署名された気候変動に対する脆弱性、リスク評価・適合・緩和に関する協力覚書に基づいた取り組み状況の確認が行われた。

(15) カブリサス閣僚評議会副議長のロシア訪問

21日から27日、カブリサス閣僚評議会副議長は、経済・貿易及び科学技術協力に関する両国政府間委員会に出席するため、ロシアを訪問した。

セルゲイ・ラブロフ・ロシア外務大臣との会談では、両国関係が素晴らしい状態にあると評価するとともに、ハイレベルな政治対話、経済・貿易、科学技術、文化及び教育分野などを相互に関心を有する重要な分野であることを強調した。また、同会談において、文化分野における協力合意及び査証免除期間延長合意が署名された。

また、カブリサス閣僚評議会副議長は、メリニコフ国家院副議長、シルアノフ財務大臣、ノヴァク・エネルギー大臣、Yevgeny Dietrich 運輸大臣、Oleg Belosiorov ロシア鉄道社長等と会談したほか、サンクトペテルブルグ国際経済フォーラムに出席した。

(16) サボリド高等教育大臣のフランス訪問

22日から27日、ホセ・サボリド高等教育大臣は、欧州高等教育（EHEA）閣僚級会合及びボローニャ・プロセス・フォーラムに出席するため、フランスを訪問した。

サボリド高等教育大臣は、フレデリック・ビダル仏高等教育・研究・イノベーション大臣と会談し、短期高等教育分野における二国間協力合意に署名した。また、同大臣はフランスにおいて教育機関を訪問したほか、ユネスコにおいて関係者と意見交換を行った。

(17) モラレス国家評議会副議長兼保健大臣のスイス及びアルジェリア訪問

23日、モラレス副議長兼保健大臣は、第71回WHO総会に出席するため、スイス（ジュネーブ）を訪問した。

その後27日まで、同副議長は、キューバのアルジェリアへの医療団派遣55周年の機会を捉え、アルジェリアを訪問した。同副議長は、ウーヤヒヤ首相を表敬したほか、ハズベラーウィ保健・人口・医療改革大臣と会談し、バイオ医療分野での協力強化について話し合った。

(18) ベヘラノ国家評議会副議長兼会計検査院長のロシア訪問

24日から27日、ベヘラノ副議長兼会計検査院長は、2019年9月にモスクワで開催予定の最高会計検査機関国際組織（INTOSAI）第23回総会に向けた準備会合に出席するため、ロシアを訪問した。同副議長は、アレクセイ・クドリン・ロシア会計検査評議会議長とも会談した。

(18) ペニャ・アルゼンチン内閣府官房長官の来訪

27日、マルコス・ペニャ・アルゼンチン内閣府官房長官がキューバを訪問し、カブリスラス閣僚評議会副議長、ロドリゲス外務大臣、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣とそれぞれ会談した。

(20) ロドリゲス農業大臣のベラルーシ訪問

28日、グスタボ・ロドリゲス農業大臣はベラルーシを訪問し、Leonid Zalayats 農業・食料大臣と会談した。両者は、二国間貿易の強化や新しい様態でのビジネス及び合弁企業の推進、両国間のさまざまな協力形式などについて話し合った。

(21) ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長のベネズエラ訪問（客年往電第489号）

30日、ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長は、議長就任後初めての海外訪問としてベネズエラを訪問した。これは、5月20日の大統領選挙にて再選されたマドゥーロ・ベネズエラ大統領への支持を示すものであると同時に、4月21日に同大統領がディアスカネル議長選出後初めての要人としてキューバを訪問したことへの返礼の意味合いを持つものであった。

マドゥーロ大統領との会談では、キューバとベネズエラの間で行われている協力案件を強化することが共通戦略であることを再確認するとともに、二国間のみならず米州地域の経済発展を推進することで一致した。また、マドゥーロ大統領は、ディアスカネル議長に対し、リベルタドール勲章第一等「エスパーダ」を授与した。

また、ディアスカネル議長は、シモン・ボリバルの遺体が安置される国立霊廟にて献花した後、制憲議会議員を前にスピーチを行ったほか、チャベス前大統領霊廟を訪問し、白いバラを献花した。さらに、同議長は、ベネズエラで12のミッションに従事する22,000名のキューバ人の代表900名との会合を行った。

なお、翌31日には、キューバ中部における豪雨被害の被災者向けとして、12トンの人道支援物資（飲料水7トン、ツナ缶4トンなど）がベネズエラから送られた。

3 要人往来

(1) 来訪

ハーシミー・アラブ首長国連邦国際協力担当国務大臣

ムライヒー・カタール外務担当国務大臣

タバレス・カーボヴェルデ外務・共同体大臣

ムブンバ・ナミビア副大統領

グテーレス国連事務総長（第37回ECLAC総会出席）

バルセナECLAC事務局長（第37回ECLAC総会出席）

スーマーACS事務局長（第37回ECLAC総会出席）

康京和・韓国外交部長官（第37回ECLAC総会出席）

アッバース・パレスチナ自治政府大統領

ガルシア・スペイン外務・協力省国際協力・イベロアメリカ・カリブ担当長官

ペニャ・アルゼンチン内閣府官房長官

（2）往訪

チャップマン国家評議会副議長のコスタリカ訪問（大統領就任式出席）

ロドリゲス外務大臣のベルギー，スイス及びフランス訪問

ペレス科学技術環境大臣のイタリア訪問

カブリサス閣僚評議会副議長のロシア訪問

サボリド高等教育大臣のフランス訪問

モラレス国家評議会副議長兼保健大臣のスイス及びアルジェリア訪問

ベヘラノ国家評議会副議長兼会計検査院長のロシア訪問

ロドリゲス農業大臣のベラルーシ訪問

ディアスカネル国家評議会兼閣僚評議会議長のベネズエラ訪問